

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第229号

発行日 2021年1月1日発行

2021年1月 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。社長の近藤です。

当社では過去2年にわたり「全体性」というスローガンで取り組んできました。

これには部門単位だけで考えるのではなく、常に全体を俯瞰し、全社の視野で考えることを大切にしたいという思いがありました。

そしてその思考の原点でもあり、昨年何度も何度も社員と共有してきたことが「相手（お客様）は喜んでいるのか？」ということでした。

2020年の日本国内ではコロナ禍の影響により東京オリンピックが中止となり、4月には緊急事態宣言が政府より発令されました。私の人生でも初めての経験となりました。

そしてその影響は国内にとどまることなく、全世界において今までの常識が通用しない年となりました。これまでの経験だけでは対処しきれず、目先の状況判断やスピーディーな決断が迫られる年でした。

当社は売上の7割以上が輸出という構成比でしたので、お取引先の国でのロックダウンや外出禁止の影響があり、売上が半減した月もあり、当初予算をすぐに見直し経費削減を行いました。また南米のお客様からはご家族が新型コロナウイルスに感染し、亡くなってしまったという連絡もいただきました。

そんな中でも、お客様に喜んでもらった対価が数字として返ってくることを信じて、社員一丸となって2020年を乗り切ることができました。

そんな経緯もあるせいか、今年は今まで以上にエネルギーに満ち溢れていることを実感しています。

この会宝通信を読んで頂いている皆様にとって2021年が良い年となることを願うと共に、当社も常にお客様に喜ばれる存在であり続けるために、日々精進して参ります。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。海外事業部の橋本です。今年もよろしくお願いします！

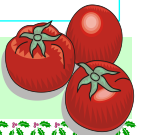
今回は、社内の改善提案で3級賞を獲得した11月の取り組みについて紹介させていただきます。そもそも、2030PJ（プロジェクト）とは、2030年に起こりうる変化を予測し、予測される変化に合わせて社内変革を行なっていく活動です。

現在、4つのチームに分かれて活動していますが、私たち生産チームでは50年間、変化のなかった現場改革を目的に結成されています。

昨年度の取り組みの一部として、スキャナ導入を行なっています。今まで生産部品を手入力でシステムにアップロードしていたものを、今回のスキャナ導入によってOCRによる読み取り作業へと移行しています。

また、スキャナ導入に合わせて生産指示書（生産部品を記入するもの）を一新しており、海外のお客様が欲しい部品を選択すると、自動で生産指示書ができるようファイルを作成しました。これによって輸出課の交渉時間の短縮も見込まれ、今回表彰をいただきました。今後も、現場目線を忘れずに全社の課題解決に励んでいきます！

農業の取り組み ～農業事業部より～



皆様こんにちは、12月前半はまだ秋の様相を残していましたが、中旬付近から本格的に北陸らしい冬になってきました。外は風が強く、雪や霰が吹きすさぶ状況で、ハウスの温風器は日中でも稼働し続け、1日20時間程度稼働していたこともありましたが、天気は時折晴れ間がのぞくこともありましたが、数分で太陽は雲に覆われ、気温が低下しますので、ハウスの内張はずっと閉じたままになっています。子の内張は保温の効果がありますが遮光も同時にしてしまいますので、ただでさえ減少した日照をさらに下げることになります。気温・日照どちらも減少する12月～2月はトマト栽培にとって難しい時期になります。トマトが大きくなるまでの期間、赤くなるまでの期間は増加しますので、1回当たりの収穫量は減少します。今後はこの状況の中で可能な限りの収穫量の確保をしていくべく環境制御・肥料管理、栽培管理を調整・改善していきます。

さて、先ほど内張の話もでしたが、今期は資材の改善を進めています。新たな培地、内張を導入し、試験運用中です。これらは以前のものよりも性能の改善、経費の削減が図られていて、この結果が良好であれば今後の栽培の上でプラスにつながりますので、冬場の栽培に気を付けつつも、この変更における効果の検証をして収量の増加につなげていきます。（担当：畠中）

☆ポケットマルシェ <https://poke-m.com/products/75918>

☆トマトを食べてさらに健康に

<https://shiawasenotomato.jp/?mode=cate&cbid=1815505&csid=0>

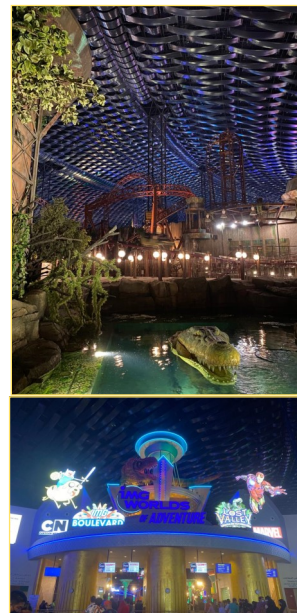


明けましておめでとうございます！ Kaiho Middle Eastの畳谷です。

今回はドバイにある「IMG Worlds of Adventure」という世界最大の屋内テーマパークへ行ってきました。屋内の涼しい環境でアトラクションが楽しめるという暑い国ならではの発想が、国民や観光客から注目を浴びるきっかけとなった有名な観光スポットです。敷地の広さはサッカー場28個分といわれており、パーク内は「カートゥーンネットワーク」「MARVEL」「IMGグループ独自のコンセプトで作成されたもの2つ」の計4つのゾーンで構成されており、1日に最大で2万人以上もの人が訪れるスポットだそうです。

アトラクションはジェットコースターのような絶叫系のものから、メリーゴーランドのような子供向けのものもあれば、お化け屋敷のようなカップルで楽しめそうなものがありました。またUAEでは日本ほどコミックの文化が発展していませんが、そのことがテーマパークの人気要因の1つとされています。

「MARVELゾーン」はスパイダーマンのアトラクションがあることから、USJにいるような感覚になりました！子供から大人まで楽しめるスポットだと思いますので、UAEへ訪れる際は是非足を運んでみてはいかがでしょうか！



今月のパチリ☆



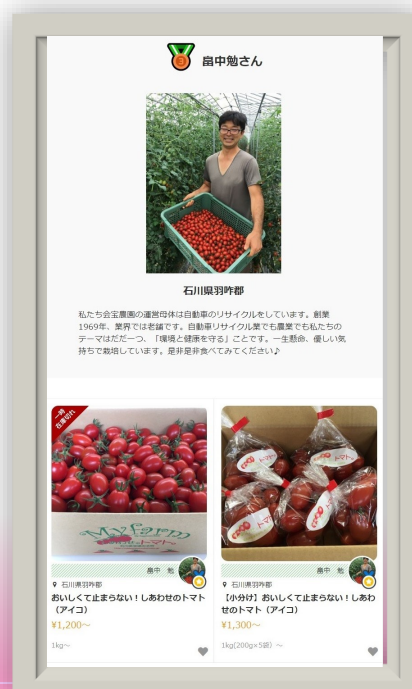
あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

先月のこのコーナーで、オンラインマルシェ「ポケットマルシェ」でのトマトの販売が好調だとお伝えしましたが、ポケットマルシェが公表している2つのランキングにランクインできました！

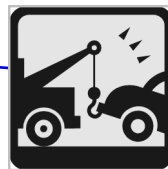
1つは「今週のTOP30農家さん〈農作物編〉 - 12月第1週 - 」です。受注客数ランキングで第3位に入ることができました！もう1つは「2020年11月の生産者ランキング」です。このランキングは、食べ手にとって購入体験が充実したものであったかどうかを数値化するため、「販売数 × ごちそうさま投稿（購入者から生産者への感想）率 × ヒミツの定数」というポケットマルシェ独自指標で算出されたものです。このランキングの39位に入りました。

登録生産者数約3,765名の中で上位に入れたことはとても嬉しく、自信に繋がりました。特に「2020年11月の生産者ランキング」は、販売数だけではなく、受注からお届けまでの対応などもトータル的に評価していただくものなので、非常に嬉しかったです。

もちろんランキングが全てではありませんが、モチベーションが上がったことは事実です。今年もお客様に「この人から買いたいな」と思ってもらえるように、引き続き頑張ります。画像は「今週のTOP30農家さん〈農作物編〉 - 12月第1週 - 」で3位になった画面です。（担当：川村）



相場情報 ～生産部より～



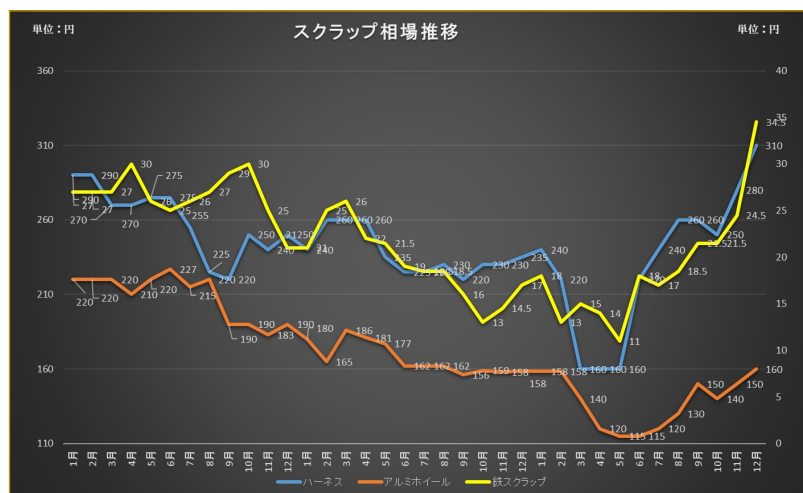
2020年12月 見込み台数

入庫台数 720台

処理台数 600台

こんにちは。会宝産業の山口です。金沢では降雪もあり、北陸らしい季節になってきました。

相場は皆さんもご存じの通り、鉄相場が一気に上昇しました。きっかけは輸出向けのスクラップが上昇に転じ、国内でのスクラップ発生簿から価格が段階的に上がった事ですが、値上がりが急激だった為に、ヤードを持つ業者は「少し待つて、もうちょっと高くなってから売ろう」と言う動きになりました。この動きが更に品薄を呼び、価格を上げる要因になっていると言われています。従って、スクラップが「本当に無い」訳では無く、市中に積みあがった在庫が動くタイミングが次の相場変動への転換点になりそうですね。



今月のトピックス

～ KRA年間報告会 ～

あけましておめでとうございます。さて全国の同業者（72社）の方々と活動している会宝リサイクルズアライアンス（以下KRA）では昨年12月10日に「KRA年間報告会」を開催いたしました。

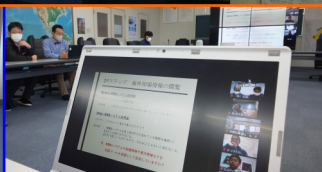
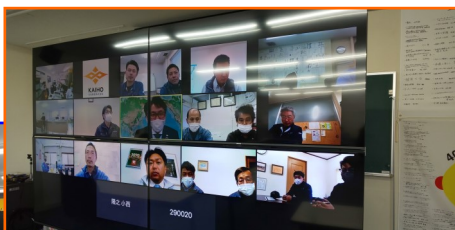
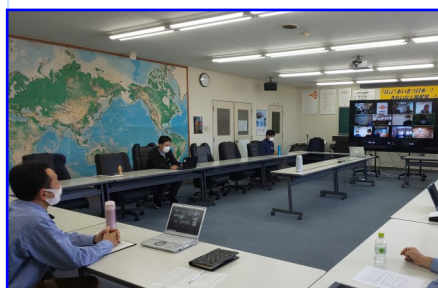
一年間取り組んできたことの振り返りと今後の方針共有が主な目的でしたが、多くの方にご参加いただき、改めて感謝申し上げます。

思い起こせば昨年のスタートは1月に総勢23名で行ったUAEの海外勉強会でした。この時は、コロナの「コ」の字もなかったと記憶していますが、その後あっという間に全世界が激変するとは夢にも思いませんでした。

しかしそんな時だからこそできることを考え、Webを活用し、一昨年以上の勉強会を開催することができました。

そして、2021年がどのような年になるかを想像することよりも、今の「変化」と未来の「予測」に目を向け「何ができるか」を常に考え、KRAメンバーに喜んでいただける企画を今後も発信して参ります。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

（担当：佐藤）



会宝産業株式会社 国内業務部
〒920-0209 金沢市東蚊爪町1丁目21-2

車両課（車両引取り・査定）

TEL 076-237-5347

FAX 076-237-1950

Email: sales@kaiho.co.jp

部品課（部品注文/担当:大森・角島・古屋）

TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。

<http://kaihosangyo.jp/>

ご意見ご要望はこちらまで

soumu@kaiho.co.jp（担当:宮村）

